

「15年間の教育を基盤に」〜七城ブロックの活動〜

地域の子は地域で育てる

七城地域には、幼稚園・保育園が4園と小中学校が各1校あります。20年前に「地域の子は地域で育てる」という思いを込め「幼保小中連携推進協議会」15年の子どもを育ち〜を立ち上げました。七城ブロックでは、この協議会を母体として活動しています。

地域・学校・行政の連携

「大きく育て、いきいきわくわく、ひとみ輝く子どもたちに」のテーマのもと、子どもたちが安心して暮らせる地域になるように地域・学校・行政の三者が協力して取り組んでいます。

全地区で人権花壇づくり

本協議会の活動は、38自治区の区長さんの協力が大きな力になっています。全ての区で大切にしているのが「人権花壇」。春・夏の花苗を区長会で配布し、各区の花壇に植えてもらいます。咲き誇る花を囲んで、区民の皆さんが語り合うことが目的です。また、北・中央・南地区から毎年各1地区、「モデル地区」を選



モデル地区の花壇

定し、環境整備への補助を行ったり、ミニ人権講座を実施しています。

人権教育講演会 全員研修

毎年8月、「15年の教育」に関わる全ての人に呼びかけ、講演会を実施しています。昨年度はルーテル大学の緒方宏明先生から具体的な話を聞くことができました。参加者からは「差別を断ち切る」「根付かせない」取り組みが大切と思えました。「母親の役割、母親の代わりになる役割の大切さがわかりました」といった感想が寄せられました。

人権だより「ひまわり」

毎月、事務局で作成し、区長回覧で地域の皆さんに届けています。心に残る話や自分自身に

問い合わせ先 人権啓発課
☎0968(25)7209

重ねてほしいことなどを書いていきます。「この前の記事、考えさせられました」「いいこと書いてますね」といった反応が、6年間書き続ける力となっています。

年長児の人権標語

地域内の4園の年長児を対象に、人権標語を毎年募集しています。入賞した作品(特選4・入選12)は、公民館に展示したり、人権だよりで紹介しています。毎回、子どもならではの感性に驚かされています。

あといつこ けんかするけん
はんぶんこ

皆保育園 立山るい

人権カルタ

地域の人から募集した人権標語をもとに作成しました。遊びを通して人権について学ぶことができます。

人と人がつながり、何気ない会話から新たな気づきが生まれます。それが、偏見や思い込みを払拭する力となります。そこそが本協議会の果たす役割だと考え、日々活動しています。

「はい!」こちら菊池市消費生活センターです! (59)

問い合わせ先 菊池市消費生活センター ☎0968(36)9450
(月)〜(金)午前10時〜正午、午後1時〜午後4時 福祉課

必ずもうかるという投資話に注意!

などの個人情報や巧みに聞き出すとする不審な電話が後を絶ちません。

人生100年時代に備え、年金だけに頼らない計画的な資産形成が勧められています。投資の勧誘はよく聞きますが、投資には必ずもうかるという保証はありません。利率の高い海外為替投資などは、投資環境の変化により元本が大きく目減りするリスクがあります。手続き費用も掛かり、思ったように増えないことも。業者から勧誘されたときは、メリットやデメリットなどの説明を十分聞き、納得してから契約するようにしましょう。「必ずもうかります。損はさせません」といったように、いいことばかりを宣伝する業者には注意してください。一人で判断せず、知り合いなどに相談し、すぐに契約せず時間をかけて検討することが大切です。

公的機関を名乗り、無料で商品を配布するといった誘い文句で、住所や年齢、家族構成、資産状況を

公的機関を名乗る電話に対しては「後でかけなおす」と言って切り、正式な代表電話にかけなおして内容を確認してください。また、「無料で商品を配布する」と言われても無料ではなかった事例が数多くありますので、安易に応じないようにしましょう。「不必要な契約」は勇気を出してきっぱりと断りましょう。困ったときは消費生活センターに相談してください。

相談を受け付けています

消費生活センターでは、専門の相談員が常駐しています。相談は無料です。電話相談も受け付けています。詳しくはお問い合わせください。

個人情報聞き出す不審な電話が増えています!

公的機関を名乗り、無料で商品を配布するといった誘い文句で、住所や年齢、家族構成、資産状況を



家録したつもりで電話したつもり